

# 信州ウッドコーディネーター 令和6年度活動事例報告

## 北村 俊夫

活動分野：中大規模木造構造物の設計等

### ①木造化のサポート

・活動内容：構造計画のサポート

例.計画段階の県産材を使用した木造化の構造計画のサポート（耐力壁の配置、柱・梁の仮定断面の提案等）、鉄骨造を木造へ置き換え

### ②信州の森元気玉プロジェクト（仮） ※自主課題

・活動内容：県産材使用量に応じた認証制度の提案

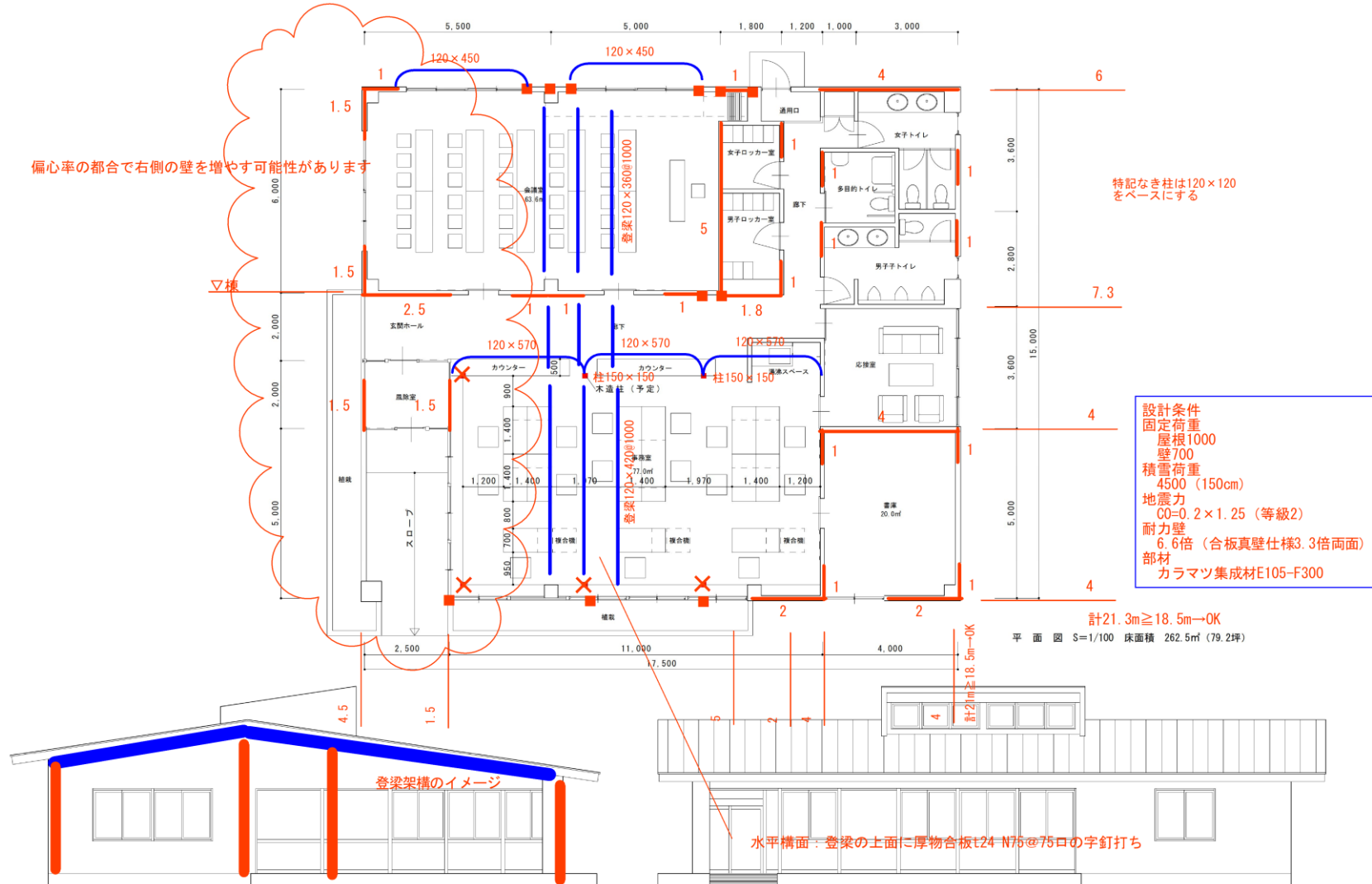
2021年3月ごろから始まった世界的な木材不足や木材の高騰により住宅産業に大きな混乱が起きた。いわゆる「ウッドショック」である。我が国の構造材（製材・合板用材）の木材自給率は約20％であり、リスクヘッジの一手として県産材の利用が挙げられる。しかしながら県産材の製造業者は小中規模のため供給量が限られており、無いからすぐに欲しいでは対応できないのが現状である。そこで、ハウスメーカーやビルダー、工務店に普段から10～25％の県産材を利用してもらい需要を平準化し、県産材の安定供給や新規参入を狙うのが本認証制度の目的である。使用量に応じた認証制度を設けることで施主へのPRや補助金への紐づけをしたいと考えた。

# ①木造化のサポート

活動実績：0件

鉄骨造を木造にしたい、木造で店舗を提案したいなど要望がありましたら、基本設計段階の簡単な図で検討可能ですので気軽にお声がけください。

# ①木造化のサポート



構造計画の例 S造→W造

【アウトプット】

- 耐力壁の種類と配置
- 水平構面の種類
- 架構の提案
- 柱の小径
- 主な梁の大きさ

【効果】

- 計画段階で躯体のイメージができるため概算コスト検討が可能になり、木造化の検討が可能になる。

## ②信州の森元気玉プロジェクト（仮）

「元気玉」を知っていますか？

- ・ドラゴンボールというアニメの主人公の孫悟空は、自分が敵わない強大な敵を倒す際に、地球のみんなからエネルギーを少しずつ提供してもらい、集約し、大きなエネルギー弾にして敵に放つという必殺技を持っています。

- ・それを県産材に置き換えると、みんなが少しずつ県産材を使うことで、「県産材の市場のパイが安定→工場設備等の投資→パイの拡大→林業の活性化→県産材自給率の向上」といった好循環が生まれると考えます。

- ・森林県の信州からこの活動を始めて、全国に発信することで、日本の木材自給率の向上につながればとも考えます。

- ・次世代へ「森林」という財産のバトンを渡すためにも、みんなの少しずつの木使いで日本が変わる「信州の森 元気玉プロジェクト」を企画しました。



## ②信州の森元気玉プロジェクト（仮）

昨年度（R5年度）活動実績：県産材使用量に応じた認証制度の提案のためのヒアリングを行った。

### 1.ビルダー

県内のビルダー3社にヒアリングを行った結果3社すべてから賛同を頂いた。要望として、県産材の製品やコストについて情報を充実して欲しい、認証制度にインセンティブ（使用量に応じた住宅補助金の上乗せ等）が欲しい、購入者に向けて県産材の価格だけでなく価値（地球温暖化防止・治水・災害防止・資源循環等）のPRをして欲しい等があった。

### 2.プレカット

県内のプレカット2社にヒアリングを行った結果2社すべてから賛同を頂いた。合板に関しては県産材の採用が可能だが、構造材の課題として、県産材を利用したいが、価格面で採用が難しいため、県産材の価格と供給量の把握、製品の適用部位の把握、JAS工場の情報、需要者へのPR方法等があった。

## ②信州の森元気玉プロジェクト（仮）

### 要望に対するアクション

#### 1. アンケートの実施

県内の集成材工場、製材工場、プレカット工場にアンケートを実施し、県産材の製品の内容、生産量、価格、需要量、課題と展望等を把握する。←いまここ

#### 2. アンケート結果の分析及び対策

アンケート結果をもとに認証制度の具体化や製品情報の整備、PR方法について検討を進める。

# おわりに

引き続き木質構造の立場から長野県の木材利用の活性化の一助となるべく活動してまいりますのでよろしくお願いします。

長野県林務部 信州の木活用課 県産材利用推進室「ウッドももっとつなぐ事業」

令和6年度 信州ウッドコーディネーター報告会

# チーム**信州の木**プロジェクト

～「**信州の木**」をもっとつかう、つくり手とつかい手をもっとつなぐ～

2025年3月10日

信州ウッドコーディネーター 香田 るい

© チーム信州の木

1. 信州ウッドコーディネーターとして
2. 「チーム信州の木プロジェクト」始動
3. 林業総合センターでの活動   ～ 木工家のネットワーク ～
4. 北アルプス地域での活動       ～ 木材のトレーサビリティ ～
5. 長野・松本地域での活動       ～ 木材市で広葉樹材リサーチ ～
6. 南信州地域での活動           ～ 長野県産精油のポテンシャル ～
7. 長野県本社企業での活動       ～ 異業種のウッドチェンジ ～
8. 令和6年度の総括   ～ 激励のお言葉、こころに残るお言葉 ～
9. 令和7年度の目標   ～ 木工家による作品展示および受注会開催 ～
10. 「チーム信州の木プロジェクト」情報発信



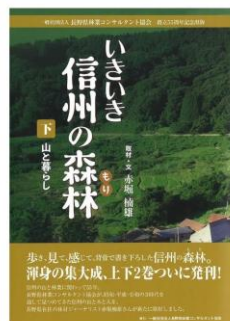
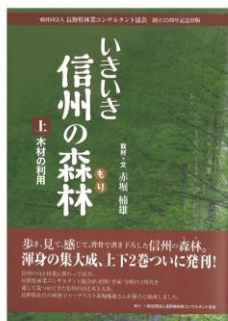
## 2-2. 「チーム信州の木プロジェクト」 (令和5年度報告より)

「信州の名工」で「信州木工会」の会長で「木工家ネット」を主宰される谷進一郎氏より、赤堀楠雄氏の著書「いきいき信州の森林」を信州の木工家につないでゆくために、**木工家向けの講習会を行い作品制作して発表する場**を企画しては？とご提案いただきました。

「木工家」とは、「職人」と「作家」の要素を持ち、自然が育んだ「木」と先人から受け継いだ「木工」という技や造形をリスペクトし、良いものを残そうという「志」を持った生き方・働き方をする人（谷進一郎氏「木工家の時代を考える」より抜粋）



長野県公式観光サイト [Go NAGANO](https://www.go-nagano.jp/) より



全国の森林を取材しその現状や課題など幅広く伝えてくださっている林材ジャーナリスト 赤堀楠雄氏より「**椅子や器なら誰でも親しみやすくリピートする楽しみがある**」と、木工家と消費者、つくり手とつかい手がふれあう場を創出する作品発表+受注会「**県内巡回展**」の企画に賛同のお言葉をいただきました。

北アルプス広葉樹活用を先導する株式会社山川草木 香山由人氏より「**一般の消費者に信州の木活用の木工品を知ってもらう場として身近なところで展示会があるのはとてもよい**」と、木工家が森林へ（現地見学）、作品制作のための木材調達（伐採→製材→乾燥）をご指導いただくことになりました。



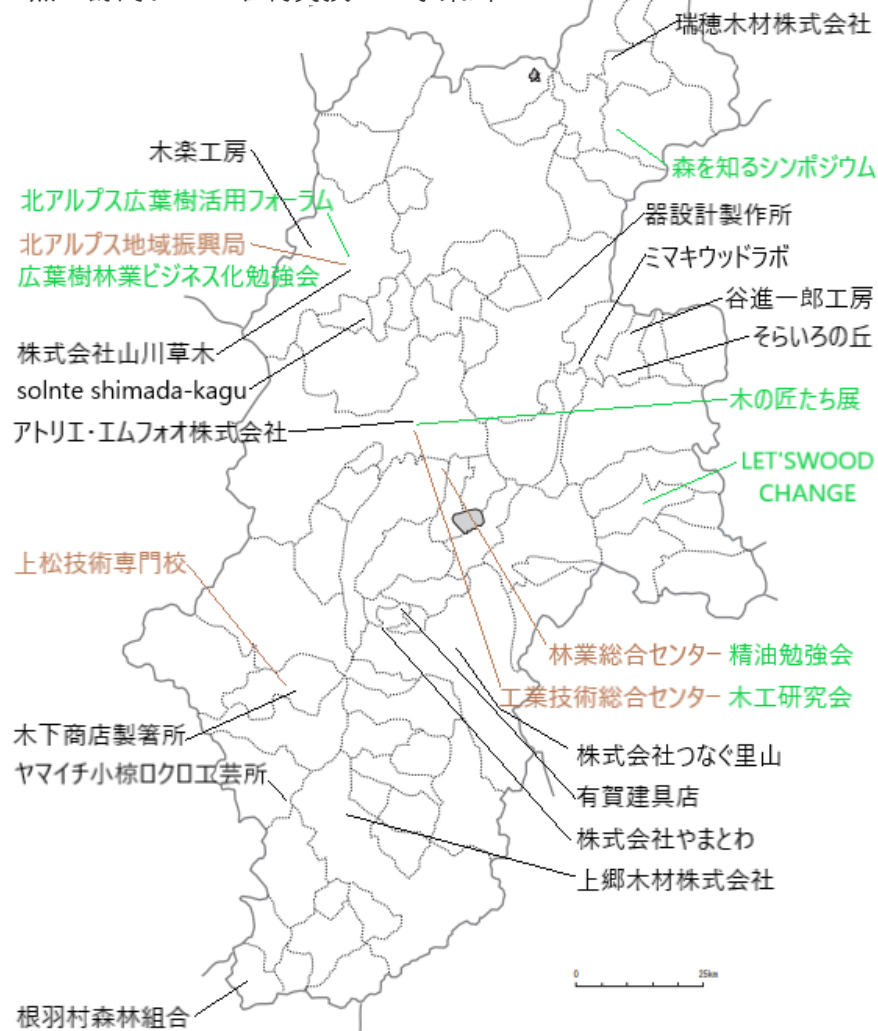
[企業組合 山仕事創造舎](https://www.yamaguchi-kawa.com/) 相談役紹介より

## 2-3. 「チーム信州の木プロジェクト」 (令和5年度報告より)

緑：参加した勉強会・視察した展示会

茶：上記開催および関連の県施設

黒：訪問および名刺交換した事業所



卓越した技術や熱意ある匠が各々の市町村で活躍

その点を線に、その線を面にすることで、

もっと深く根を張り、もっと幹を太くして、

「森林県から林業県へ（阿部知事談）」



国指定の伝統的工芸品はすべて広義の「木の文化」

木曾漆器・信州紬（桑の木の葉で育まれる）・飯山仏壇

松本家具・内山紙（楮でつくる）・南木曽ろくろ細工

信州打刃物（草木を刈る）/ 指定順



「チーム信州の木」は、

信州の木を“もっとつかう”同志を集い、

「チーム信州の木プロジェクト」は、

つくり手とつかい手を“もっとつなぐ”場を創出

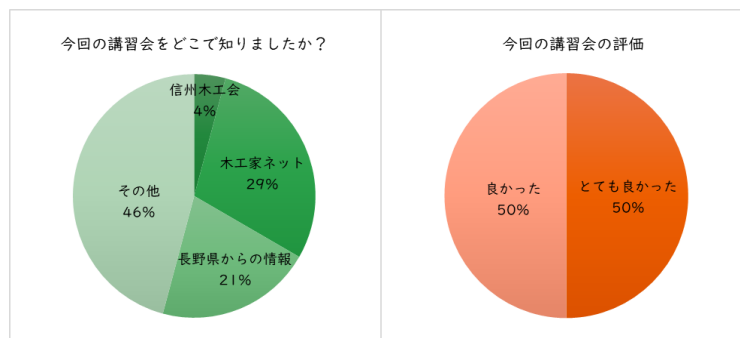
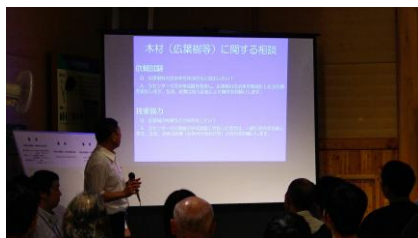
山国信州が年輪を重ねてきた「木の文化」に

気づき、学び、日々の暮らしで親しむことを誇りに



令和6年度より「チーム信州の木」として情報発信

### 3. 林業総合センターでの活動 ～木工家のネットワーク～



#### 信州の広葉樹材活用講習会

主催：信州木工会 後援：長野県

日時：令和6年7月15日（月・祝）13:00～17:00

場所：長野県林業総合センター 森林学習展示館

講師：県産材利用推進室、北アルプス地域振興林務課、  
林業総合センター木材部の県職員

木工家 山形英三氏、務台直樹氏、大久保公太郎氏

参加者：一般20名、上松技術専門学校(指導員・訓練生) 12名

信州木工会8名、講師および関係者 合計53名

#### 今回の講習会の感想（自由記述）

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会場について | 会場の雰囲気がとてもよかった。<br>森林学習展示館は森林や木について学ぶ場所としてふさわしく今後も活用したい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 内容について | 森林・林業・木工の課題と取り組みについて、より深く知ることができた。<br>県職員の県産材に対する考え方や取組み、林業総合センターの研究員が試験を重ねて <b>木材乾燥技術の向上</b> のために尽力されてると知ることができた。<br>木工家が広葉樹材をどのように入手して活用しているのかわかり勉強になった。<br>先輩方のものづくりの <b>スタイル</b> による木材の求め方や仕入れ方など勉強になった。<br>林業・製材の垣根を超えたお話も大変刺激になった。<br><b>ユーザー</b> がどの木を使っているかの情報を求めていることが興味深かった。<br>木工家の作品に対する思いや <b>ストーリー</b> がとても心に響いた。<br>予想以上に多くの方が参加し、 <b>想いを共有</b> できる仲間が多いことも実感できた。<br>信州の木活用の現状を知ることができ、 <b>同志と交流</b> することができて有意義だった。<br><b>流通の仕組み</b> が具現化できれば活用したい人はたくさんいるように思った。<br>信州の広葉樹材は <b>ポテンシャル</b> が高いということを知ってもらうきっかけとなった。                                                                   |
| 今後について | 大町方面が動き出している様子に、松本・塩尻周辺でも <b>同様の動き</b> があれば嬉しい。<br>山から直接の <b>ルート</b> だけでなく、チップ屋からという <b>ルート</b> も考えられる。<br>特殊伐採業者と木工家をつなぐ <b>ネットワーク</b> があれば <b>トレーサビリティ</b> につながる。<br>木工家のみならず一般の方も気軽に信州の木を購入できる仕組みができた。<br>地元愛・地球愛の気持ちが <b>お客様に響く</b> ような <b>シンボル</b> があったらいい。<br>白馬山麓のナラ、安曇野のサクラ、善光寺平のクリ、と表記ができるようになれば、<br>信州の木の <b>付加価値</b> が高まり、作品の <b>魅力</b> を深め、 <b>ブランド</b> 化を図ることができる。<br>少しづつでもやや割高でも利用を増やしていきたい。<br>この活動を <b>さらに広げて</b> いくことで、県内の木工家に活用を促し定着できたら。<br>県産材の需要があることを確認できたので、今後の製材の参考にしたい。<br>飛騨市で始まった育成条件と材質の科学的研究は、育成林業を考えるためには重要。<br><b>流通の仕組み</b> 作りが重要、今後も課題解決に向けて <b>情報交換</b> をさせていただきたい。 |

## 4-1. 北アルプス地域での活動 ～ 木材のトレーサビリティ ～



「製材マルシェ vol.3」北アルプス森林組合にて  
上：会場の様子と北アルプス材の説明  
中：製材実演と製材後のヤマザクラ材  
下：実行委員の皆さんと含水率測定  
(11月10日／大町市)

## 4-2. 北アルプス地域での活動 ～ 木材のトレーサビリティ ～



チェーンソーで割りやすい細い方が高値、太い方が安値という薪材の貯木場。信州ウッドコーディネーターの鈴木信哉氏から「ナラは末口20cm上で用材！」とお叱りを受け「混ぜれば薪 分ければ宝」という標語をつくりました。

## 5-1. 長野・松本地域での活動 ～ 木材市で広葉樹材リサーチ



長野県森林組合連合会 北信木材センター「開設66周年記念市」にて（2024年11月14日開催、13日撮影／長野市穂保）  
広葉樹は、ケヤキの大木（上右）、ナラ（ミズナラ・コナラ）・サクラ・クリ（中）、セン・クルミ・ホオ（下）など

## 5-2. 長野・松本地域での活動 ～ 木材市で広葉樹材リサーチ ～



長野県森林組合連合会 中信木材センター「開設62周年記念市」にて（2024年11月14日開催／安曇野市三郷）  
広葉樹はナラ（ミズナラ・コナラ）・クヌギ・ウダイカンバ（中）、エンジュ・サクラ、針葉樹はトウヒ・イチイも（下）

## 6. 南信州地域での活動 ～ 長野県産精油のポテンシャル ～



上郷木材株式会社にて  
林業総合センター開発のドラム缶精油抽出装置  
を設置、ヒノキ製材端材を活用して初蒸留  
(6月26日／飯田市)

←「木の香と(このかと)」というネーミング、  
愛らしいパッケージは地元デザイナーとの共創  
(写真は上郷木材株式会社より)

## 7. 長野県本社企業での活動 ～ 異業種のウッドチェンジ ～

# EPSON

# 木の プロジェクター

信州の豊かな森林で育った国産木材を使用し、地元の木工職人と共に作り上げました。  
木のぬくもり、質感、香りが心地よさをもたらし、インテリアにも自然に溶け込みます。  
国産木材を使うことで森林の循環を促し、社会課題の解決に貢献します。



EPSON  
木のプロジェクター

信州の豊かな森林で育った国産木材を使用し、地元の木工職人と共に作り上げました。  
木のぬくもり、質感、香りが心地よさをもたらし、インテリアにも自然に溶け込みます。  
国産木材を使うことで森林の循環を促し、社会課題の解決に貢献します。

EPSON  
木のプロジェクター

信州の豊かな森林で育った国産木材を使用し、地元の木工職人と共に作り上げました。  
木のぬくもり、質感、香りが心地よさをもたらし、インテリアにも自然に溶け込みます。  
国産木材を使うことで森林の循環を促し、社会課題の解決に貢献します。



セイコーエプソン株式会社 豊科事業所 VP事業部

### 「木のプロジェクタープロジェクト」

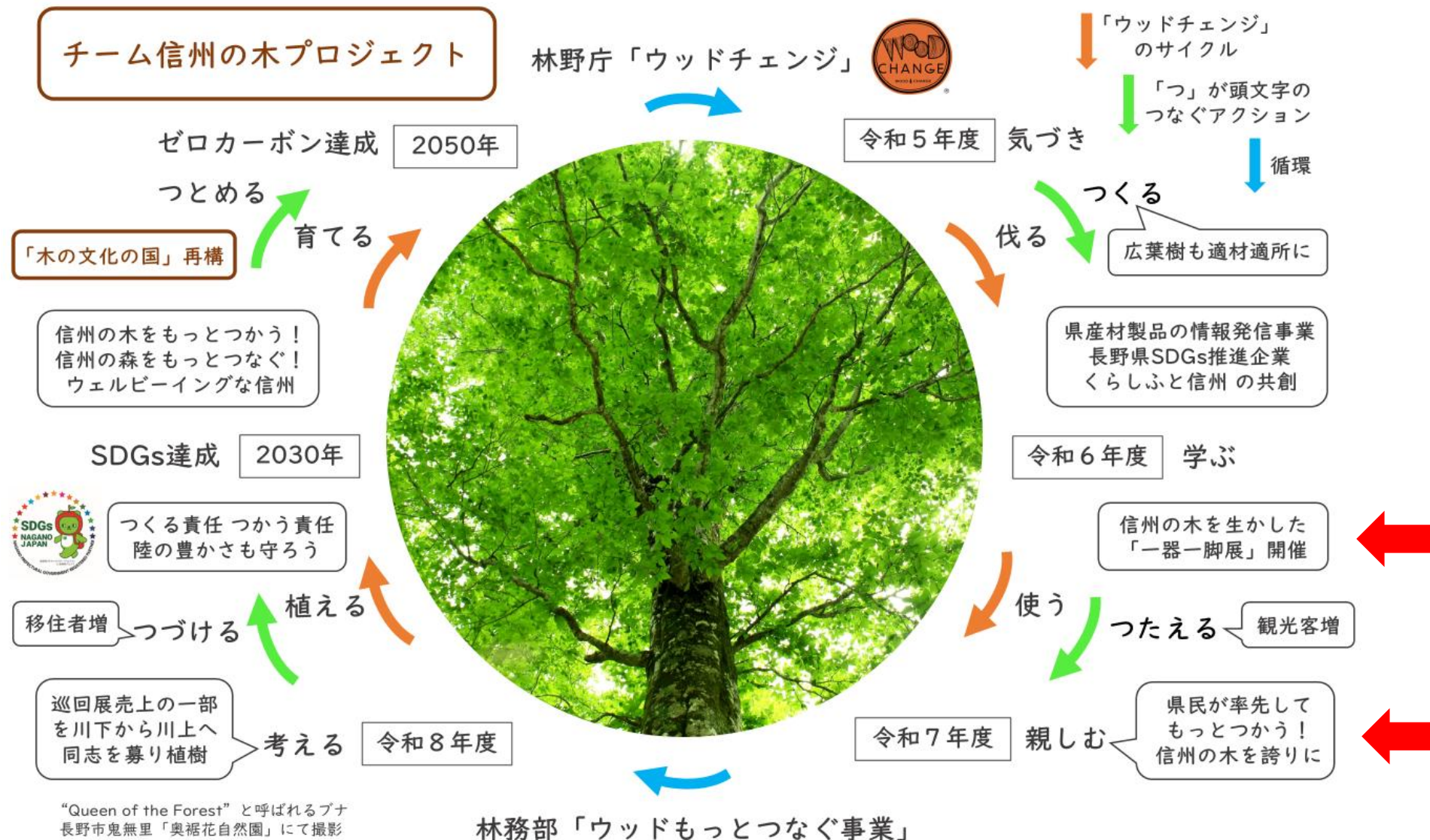
不燃物として処理される難燃性プラスチックを地球環境に配慮した素材にという社員の発案にはじまり国産材活用から森林循環へつなぐストーリーを描きその前章としてウッドカバーを開発中

←3月1日～30日まで東京二子玉川 [蔦屋家電+](#)で  
POC（概念実証）の実施にて [参考出展中](#)  
信州の森林の映像と [信州の木の香り](#)で演出

## 8. 令和6年度の総括 ～ 激励のお言葉、ここに残るお言葉 ～

- ◎今回出品された広葉樹は銘木クラスもあり、信州の広葉樹材はポテンシャルが高い  
針葉樹だけでなく広葉樹も含めた「信州の木」活用を  
(長野県森林組合連合会 代表理事会長の藤原忠彦氏より)
- ◎ウッドショックで木材調達できなくなり困っている時、県内の製材所が県産材を提供、  
県産材に助けられたとの思いから「信州の木」でものづくりを志しました  
(上松技術専門校の訓練生より)
- ◎伐採の瞬間を見ていただけて何よりです。また来てくださいね！  
(伐採現場視察でリーダーが重機を降りてご挨拶、川上と川下がつながった瞬間)
- ◎モクコレの長野県ブースは、皆さんそれぞれに人をつないでくださり、よい雰囲気でした  
(高校駅伝アベック優勝で報道された、襷をつなぐチームワーク=心を大切にする県民性)
- ◎その地域のストーリーのある木材、使うことで地域の活性化や自然環境の維持につながる  
地域材の家具や木工品を手にとり、森との関わりを意識して森を身近に感じていただきたい  
(NHKラジオ「マイあさ！」の暮らしに役立つ経済情報「マイ！Biz」生出演の赤堀楠雄氏より)

## 9. 令和7年度の目標 ～ 木工家による作品展示および受注会開催 ～



## 10. 「チーム信州の木プロジェクト」 情報発信

ちいさな種から おおきな力へ



【チーム信州の木】メーリングリストは随時追加中、Facebook&Instagram もよろしくお願いいたします！

# 信州ウッドコーディネーター 令和6年度活動事例報告 佐藤健太

姉妹都市・協定都市連携モデル 信濃町・千葉県流山市

おおぐろの森小学校・中学校



白みりんミュージアム R7年3月29日開館

# 信州ウッドコーディネーター 令和6年度活動事例報告 佐藤健太

姉妹都市・協定都市連携モデル 須坂市・神奈川県三浦市 海老名市



海老名市に学童机天板とCO屋を納品



三浦市新庁舎建設に須坂市産材のPR



海老名市民祭り 木工ワークショップに参加

令和7年  
海老名市障害者ケアセンター  
建設工事に須坂市産唐松集成材  
100m<sup>3</sup>を使用予定



# 信州ウッドコーディネーター 令和6年度活動事例報告 佐藤健太

## 民間案件での県産材使用事例



「Green UNDER GROUND」プロジェクト  
駒沢大学駅西口ビル



無印良品 店舗外装材

# 信州ウッドコーディネーター 令和6年度活動事例報告 佐藤健太

高耐久木材を都市土木インフラやランドスケープに



東屋

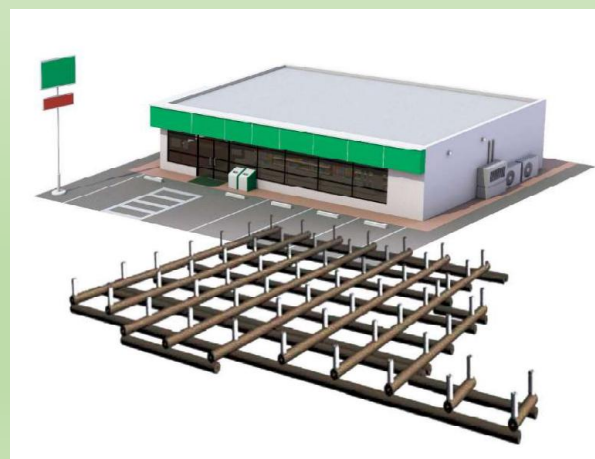


デッキ



## 木材の耐久性は推定30年以上

公的機関（独）森林総合研究所での野外試験を実施しており、データの分析から木材が推定30年を超える耐久性があることが実証されています。



木製基礎

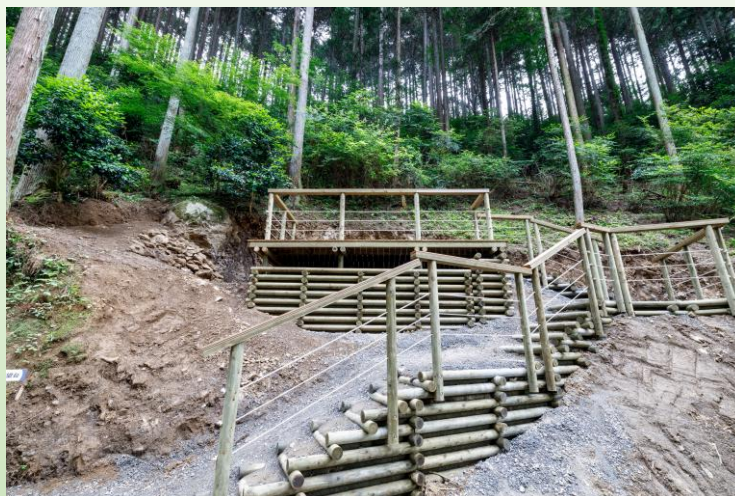


木製駐車場

# 信州ウッドコーディネーター 令和6年度活動事例報告 佐藤健太

サーキュラー建築の実現

壊すときのことまで考える



あじさい山プロジェクト

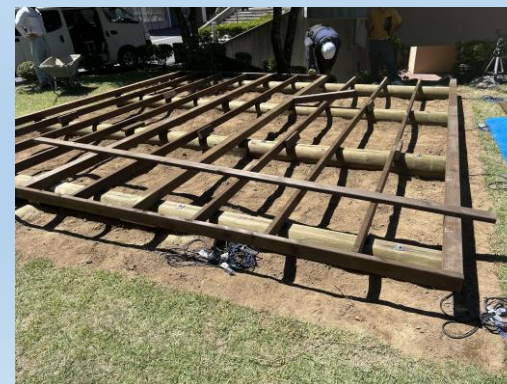
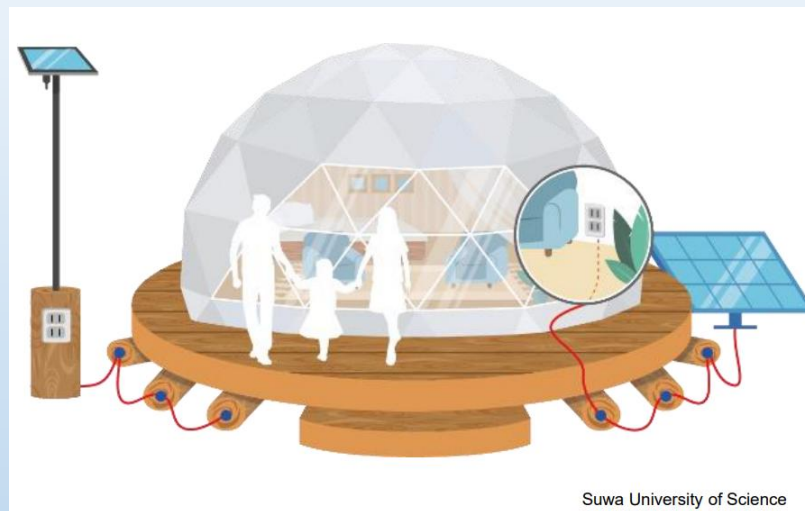
コンクリートを使用しない工法

デザインアドバイザー  
AREANO/鳥海宏太+甘粕建築設計事務所

# 信州ウッドコーディネーター 令和6年度活動事例報告 佐藤健太

サーキュラー建築の実現 壊すときのことで考える

諏訪東京理科大学  
キャンパス

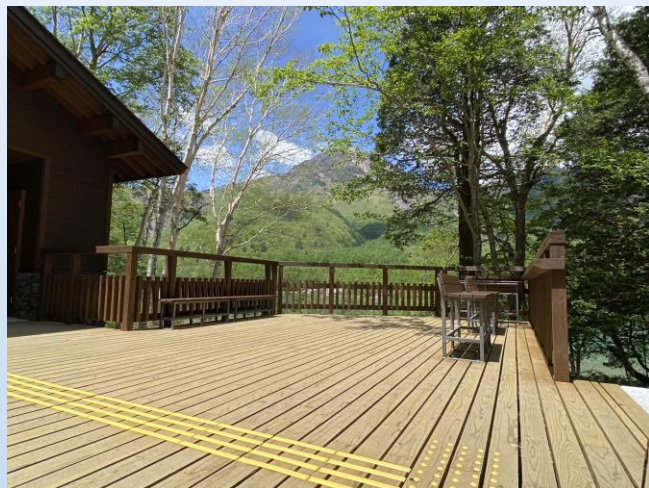


木製基礎工法

建設技術審査証明を  
取得

# 信州ウッドコーディネーター 令和6年度活動事例報告 佐藤健太

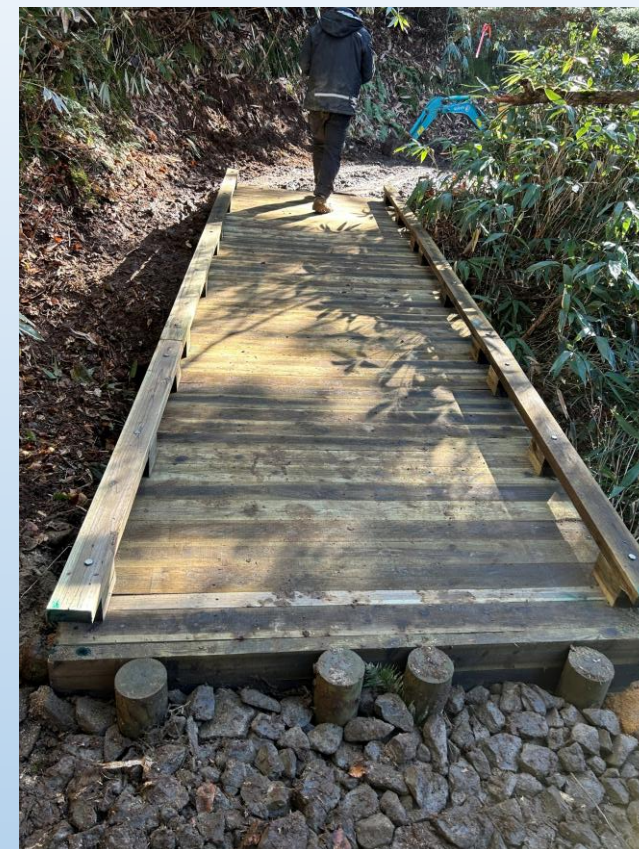
## 高耐久木材を国立公園に



上高地



乗鞍高原



志賀高原

環境省 信越自然環境事務所に  
県産材利用のご提案

ゼロカーボン・長寿命化対策に対応した木材製品

## ウッドチェンジ普及促進支援事業

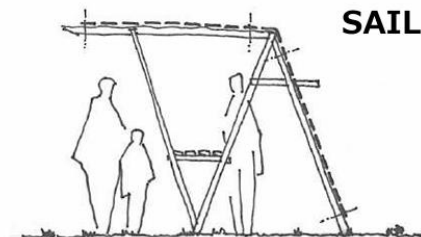


### 金属からエシカルな 県産木材へ



アルミ

wood



SAIL

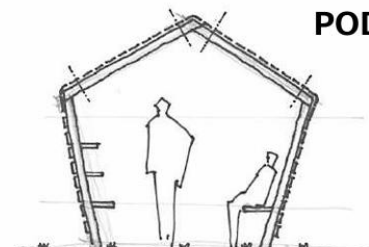
県産木材

Let's  
change  
that



スチール

wood



POD

県産木材



信州木造り工房

# 信州ウッドコーディネーター 令和6年度活動事例報告 佐藤健太

## ウッドチェンジ普及促進支援事業

### POD ポッド

活用用途：マルシェ、イベント



\*オリスタマルシェ：長野市  
ワークショップブース



### SAIL セイル

活用用途：マルシェ、イベント



\*オリスタマルシェ：長野市  
インフォメーション



|      |     |     |      |     |
|------|-----|-----|------|-----|
| 販売実績 | POD | 18基 | SAIL | 27基 |
| レンタル | POD | 3基  | SAIL | 6基  |

# 信州ウッドコーディネーター 令和6年度活動事例報告 佐藤健太

## ウッドチェンジ普及促進支援事業

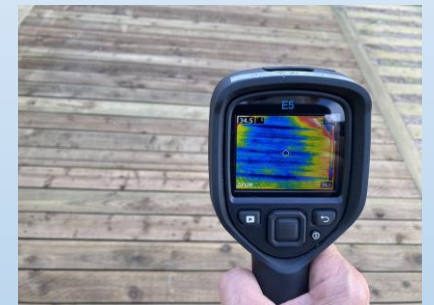
## 木製舗装駐車場



施工前



施工後



- 期待される効果
- ・ 二酸化炭素排出抑制（製造時で10分の1以下）
  - ・ 炭素の長期固定（0.67 t-CO<sub>2</sub> 1台分）
  - ・ 廃棄物削減
  - ・ ヒートアイランド抑制
  - ・ 雨水流出量の低減
  - ・ 地域木材の有効活用

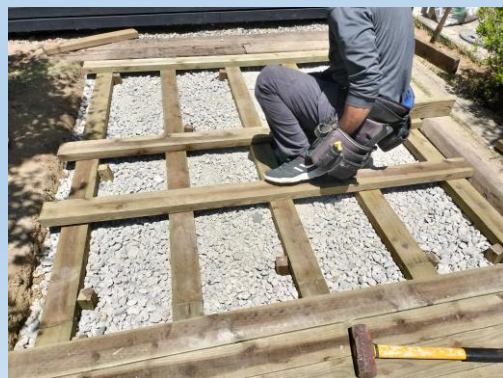
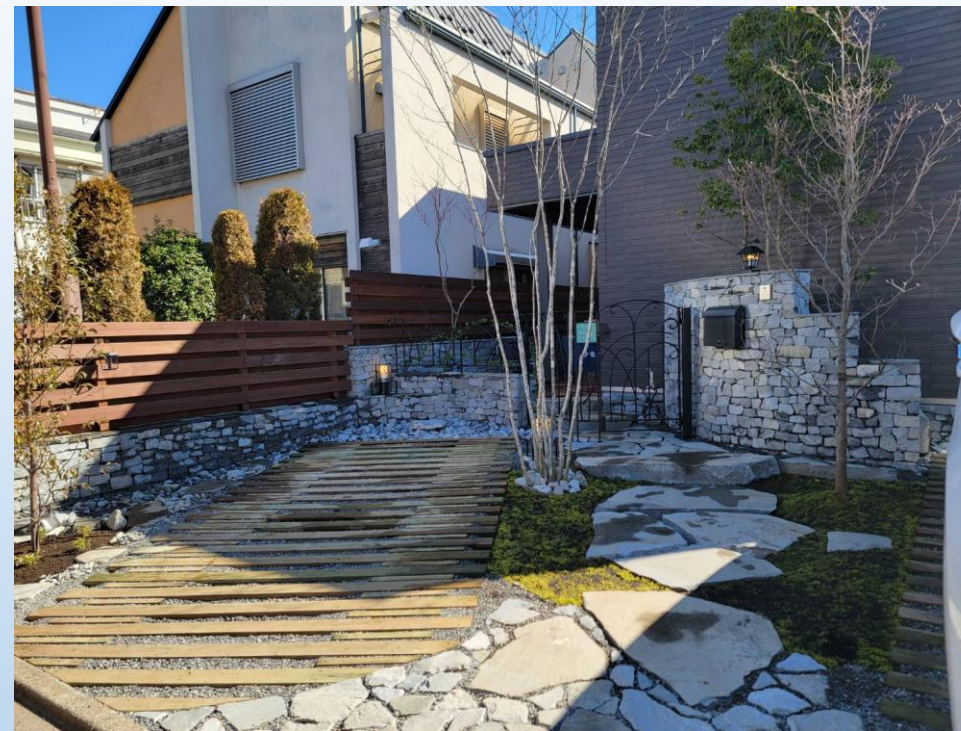
サーモグラフィー測定  
測定日 令和6年9月10日 16時15分  
測定箇所 長野市稲葉  
気温 34℃  
アスファルト舗装 50.1℃  
木製舗装 34.5℃

# 信州ウッドコーディネーター 令和6年度活動事例報告 佐藤健太

## ウッドチェンジ普及促進支援事業



木製舗装駐車場



# 信州ウッドコーディネーター 令和6年度活動事例報告 佐藤健太

## アパレル業界とのブランディング



KEITH

### PARKS PROJECT とは…

NATIONAL PARKS（国立公園）を守るため、  
KEITHとSEVAGによってアメリカで2014年から始動したプロジェクト。  
売上金を植林などの自然維持や公園の運営のために寄付するECOブランドで、  
各国立公園をイメージしたデザインのプロダクトを展開しています。  
寄付貢献とともに環境保全を目的としたボランティア活動も行っています。



SEVAG



### PARKS WOOD CYCLE

生物多様性の回復と森林への寄付のサイクルで  
使うことで森の循環を促進させるPARKS WOOD

都市部で排出されたCO2を吸収、補完した木材の新たな利活用先を創出し、  
コンクリートやアスファルトの代替素材として生物多様性の回復からCO2の固定化、さらに次世代のCO2吸収の循環へ。



### アパレル業界トレンド

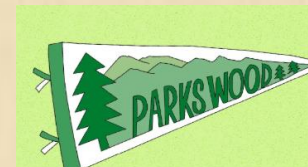
- ・環境に配慮した素材
- ・生産者に配慮した素材

### アパレル業界ブランディング

- ・デザインに文化やストーリー、  
理念などさまざまな要素を  
組み合わせてブランド価値の向上



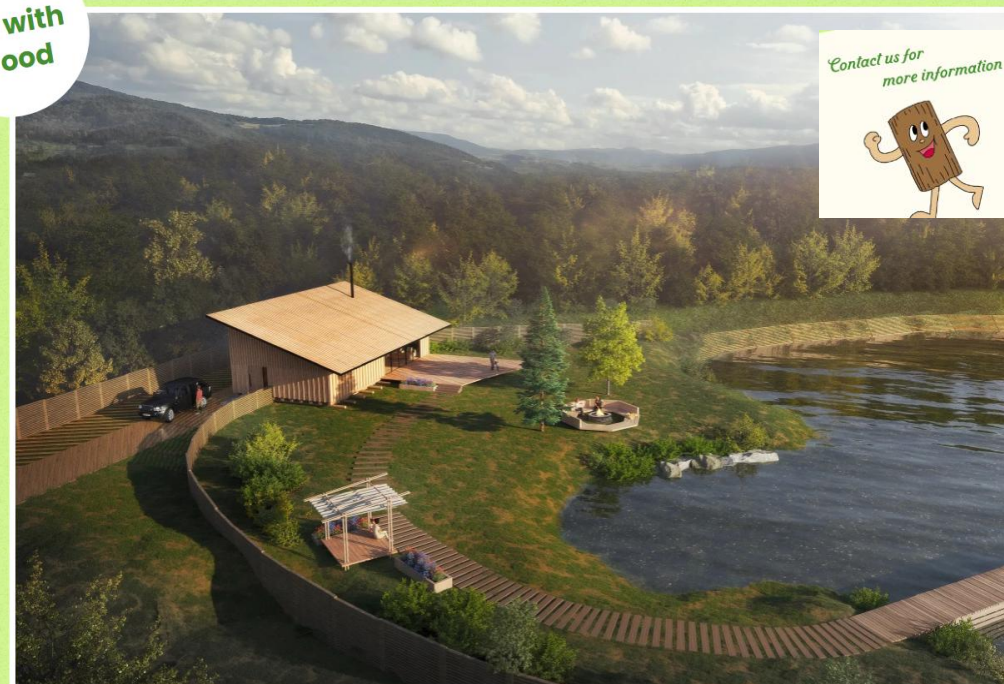
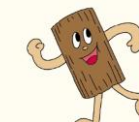
# PARKS WOOD



*Creates a new future close to nature.*

Life with  
Wood

Contact us for  
more information



アパレル業界とのブランディング



PARKS WOOD



製品イメージ

営業先 三井不動産 東急不動産 トヨタ不動産 西武リアリティーソリューションズ

## その他の活動

### 会議・研修会等での木材利用事例報告

- ・ 林野庁ウッドチェンジ協議会
- ・ 大北林業特産経営者協会
- ・ 林務部普及担当者会議
- ・ 佐久地域木材利用促進連絡調整会議
- ・ 北アルプス地域木材利用促進連絡会議

### NSDプロジェクト

設計者との打合せ、木材の調達について、加工場の案内、伐採現場の案内等

- ・ 松本養護学校
- ・ 若槻養護学校
- ・ 伊那新校
- ・ 須坂新校

# 信州ウッドコーディネーター 令和6年度活動事例報告

鈴木 信哉

---

令和7年3月10日（月）

# ①木曽地域のカラマツ利用の促進

## 【活動内容】

- ・長野県では、カラマツ資源の利用は東信地域が主流。
- ・木曽地域は、天然木曽檜銘木を含めたヒノキに関心が高い。
- ・しかし、開田高原はじめ強度の高い人工林カラマツがあるが、関心は低い。

(5月23日)

「カラマツの流通の現状と木曽谷カラマツ活用の可能性」と題して、上松町の木曽森管理署多目的ホールで講演。

(6月17日・18日)

カラマツ利用が進む岩手県内カラマツ伐採現場、ムク建築用製材工場、杭丸太等土木用材製材工場を視察のため訪れた視察団(木曽町長を筆頭にした産官15名)を受入れ案内。

# 木曽谷カラマツの可能性

## 1. 気温

本州での最低気温 盛岡市薮川、宮古市区界、一戸町奥中山、遠野市  
(いずれも優良カラマツ産地)

野辺山、開田高原

(当然！優良カラマツ産地)

## 2. 強度の強い外材の代替

ダフリカカラマツ(ロシア)、米マツ(北米)、RW(北欧)

E140、E120、E100で分類

- ・ラミナMSRすれば高値取引
- ・スギで対応出来ない長スパン横荷材
- ・トラスでも強い

## 3. 芯が真ん中だと高強度製品歩留まり高い

真ん中の  
むき芯



真ズレの  
むき芯



# 木曽谷カラマツの可能性

4. 樹高高く胸高直径が小さければ、歩留り向上  
末口2乗法の原則。除伐、間伐未実施材分も逆利益効果。
5. 小径木の土木用材価値あり  
土木用材はマツ指定多い。最多ニーズは9cm(7~13cm)
6. バイオマス用伐倒時の初期含水率低く、評価大!!  
東北のバイオマス丸太価格 (カラマツ≧アカマツ≧スギ)  
(当然、短コロ、末木枝条も一緒)
7. カラマツ林内の広葉樹高評価  
造林後、着床するので、太陽光求めて直材(広葉樹ウッドショック継続中)
8. 赤身強いカラマツは、家具・テーブル・内装材利用  
天然カラマツ高い → 何に使われるか?  
ヒノキの評価(関東赤身、中京ピンク。関西白)





## 【主な成果と今後の課題】

(7月19日)

木曽カラマツ活用戦略会議発足

木曽エリアに廃校を利用した合板工場、単板工場建設計画発表

木曽カラマツ戦略骨子(案)にアドバイス

今後は、具体的に川上から川中への中間土場を含めた連携の仕組みを早急に確立させる。

## ②木質バイオマス発電の成功に向けて

### 【活動内容】

佐久市において表題の講演会を行ったが、7月29日・30日に成功事例の視察案内。

(7月29日・30日)

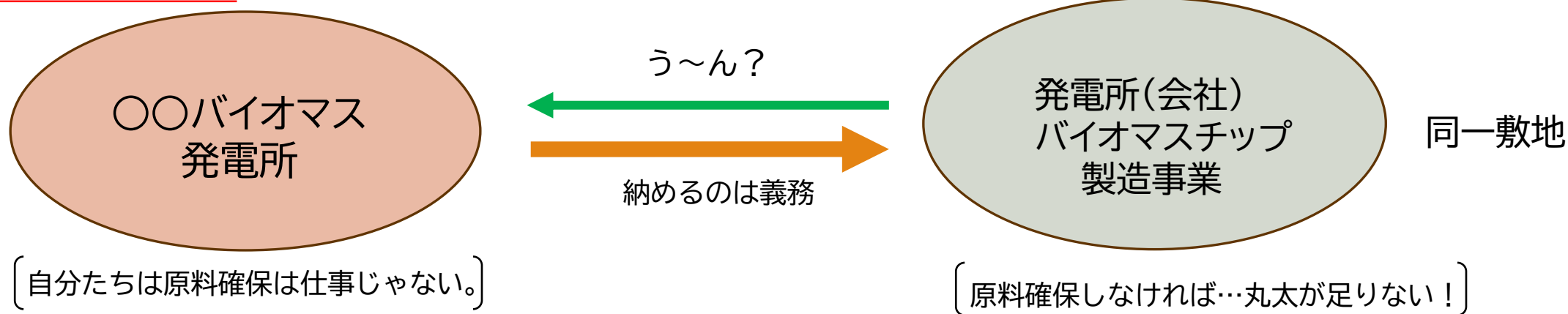
- ・移動式チップパーによるバイオチップ製造現場
- ・高性能林業機械での伐採と山元原木仕分け
- ・バイオ発電所土場と買入れチップと製造チップのミキシング

### 【主な成果と今後の課題】

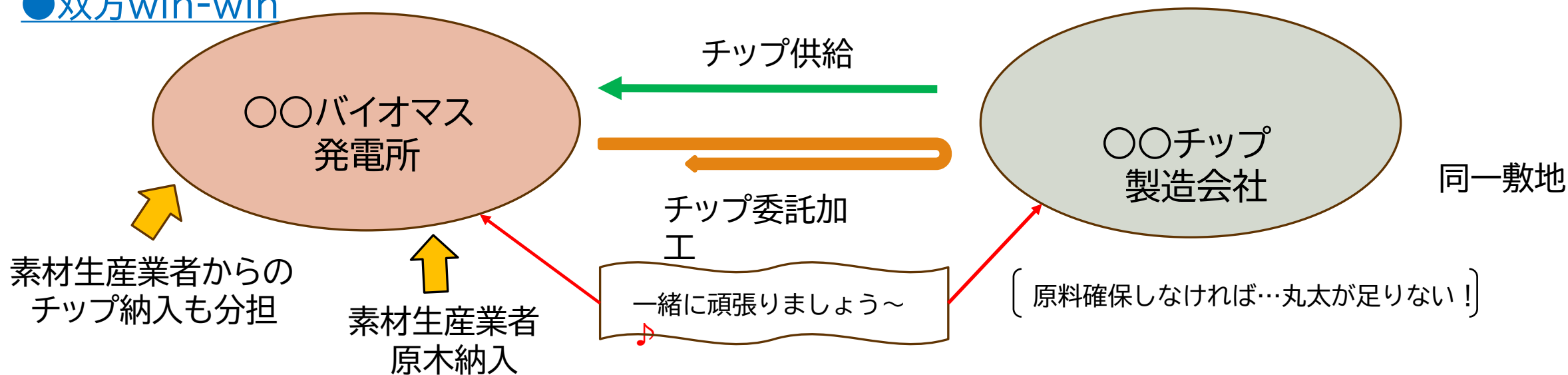
成功事例を基に、長野県内の木質バイオマス発電所の適切運営に資する素材生産業におけるD材利用の活用と必要土場の確保

# 発電所とチップ供給会社が違う場合

## ●片方win-neutral



## ●双方win-win















### ③広葉樹の利用促進

#### 【活動内容】

1月27日中部森林管理局で「里山広葉樹二次林の施業・利用について」の講演を実施。

#### 【主な成果と今後の課題】

(7月19日)

皆さんの広葉樹の現在の価格、入手樹種等の知識の向上

課題は、長野県内での中核市場の選定および川上の人の樹種の見分け方の勉強や常たる情報流の確立

# 高値入札丸太と広葉樹買い手(所在地一覧)

| 樹 種   | 材長/m | 径級/cm | 落札額/円   | 所在地    |
|-------|------|-------|---------|--------|
| オニグルミ | 2.00 | 44    | 125,900 | 静岡     |
| イタヤ   | 3.00 | 64    | 254,000 | 岐阜     |
| クリ    | 4.20 | 48    | 214,000 | 岐阜     |
| クリ    | 4.00 | 50    | 260,000 | 静岡     |
| クリ    | 7.20 | 50    | 219,900 | 京都     |
| クリ    | 4.20 | 62    | 285,000 | 岩手(岐阜) |
| クリ    | 3.00 | 70    | 477,900 | 岩手     |
| トチ    | 3.80 | 90    | 434,000 | 岐阜     |
| ナラ    | 2.10 | 58    | 148,010 | 秋田     |
| ナラ    | 2.10 | 44    | 145,010 | 秋田     |
| ナラ    | 4.00 | 62    | 288,900 | 岩手(岐阜) |
| ホオ    | 2.20 | 56    | 123,900 | 岩手(岐阜) |

## 直近市場の高値

岐阜、宮城、**京都**、**埼玉**、**山梨**、兵庫、青森、静岡、北海道、東京、岡山、福島、山形、群馬、愛知、**長野**、**新潟**、秋田、岩手、富山、茨城

## 令和3年度

秋田、岩手、茨城、福島、宮城、愛知、岐阜、岡山、**埼玉**、青森、静岡、富山、山形、長野、兵庫、新潟

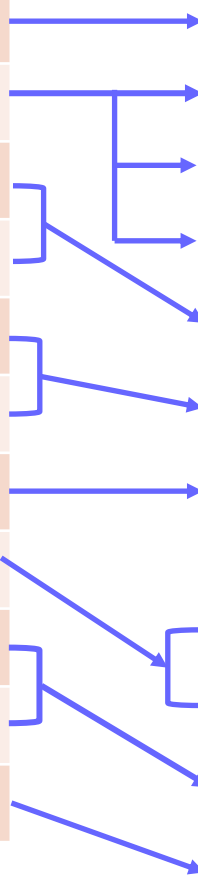
# 夏場・冬場の違い(白物中心)

冬場(12月)

| 樹種    | 長級/m      | 径級/cm | 落札額/円  |
|-------|-----------|-------|--------|
| ウダイ   | 2.20      | 36~42 | 50,010 |
| サワグルミ | 2.20      | 30~42 | 22,100 |
| シラカバ  | 2.20      | 28~34 | 39,999 |
| シラカバ  | 2.20      | 36~38 | 27,700 |
| シナ    | 2.10~2.20 | 22~34 | 22,400 |
| シナ    | 2.20      | 30~34 | 38,000 |
| トチ    | 2.20      | 36    | 45,010 |
| ブナ    | 2.20      | 32~40 | 58,000 |
| ホオ    | 2.20      | 40    | 45,000 |
| ホオ    | 2.20      | 40    | 90,100 |
| タモ    | 2.20      | 28~34 | 30,010 |

夏場(7月~8月)

| 樹種    | 長級/m      | 径級/cm | 落札額/円  |
|-------|-----------|-------|--------|
| ウダイ   | 21.0~2.20 | 24~30 | 16,630 |
| サワグルミ | 2.10~2.20 | 26~40 | 11,010 |
| サワグルミ | 2.20      | 24~30 | 9,000  |
| サワグルミ | 2.20      | 24~36 | 14,500 |
| シラカバ  | 2.20      | 28~34 | 15,530 |
| シナ    | 2.20      | 40~42 | 14,550 |
| トチ    | 2.20      | 34    | 22,400 |
| ハンノキ  | 2.20      | 26~38 | 14,500 |
| ブナ    | 2.20      | 44    | 20,500 |
| ブナ    | 2.10~2.20 | 32~45 | 20,500 |
| ホオ    | 2.20      | 36    | 22,010 |
| タモ    | 2.20      | 24~30 | 20,000 |



# 人気樹種の最小径の低下・市場であまり見ない樹種

人気樹種の最小径

| 樹 種     | 材長/m      | 径級/cm | 本数 | 円/m <sup>3</sup> |
|---------|-----------|-------|----|------------------|
| オノオレカンバ | 2.00～2.10 | 14～16 | 2  | 25,000           |
| オノオレカンバ | 2.00      | 20～26 | 5  | 68,650           |
| サクラ     | 2.20      | 20～32 | 2  | 30,200           |
| シナ      | 2.10～2.20 | 22～28 | 12 | 24,380           |
| ミズメ     | 2.10～2.20 | 24～32 | 17 | 31,330           |
| ミズキ     | 2.20      | 20～30 | 7  | 25,200           |
| ナラ      | 2.20      | 22～28 | 35 | 45,999           |
| ナラ      | 2.20      | 22～30 | 43 | 48,410           |
| ナラ      | 2.10～2.20 | 24～38 | 3  | 81,730           |
| ナラ      | 2.00～2.20 | 24～32 |    | 52,111           |
| ブナ      | 1.80～2.20 | 20～30 | 47 | 26,900           |
| ホオ      | 2.10～2.20 | 22～24 | 11 | 17,000           |

市場であまり見ない樹種

| 樹 種     | 材長/m      | 径級/cm | 本数 | 円/m <sup>3</sup> |
|---------|-----------|-------|----|------------------|
| エンジュ    | 2.20      | 28    |    | 60,500           |
| キリ      | 2.20      | 34～42 |    | 55,000           |
| ウルシ     | 2.00～2.20 | 24～32 |    | 48,000           |
| ウルシ     | 1.40      | 40    |    | 62,070           |
| ヤナギ     | 2.20      | 32～38 |    | 30,000           |
| ケンポナシ   | 2.20      | 32～40 |    | 30,000           |
| ポプラ     | 1.90      | 98    |    | 23,700           |
| クロガキ(中) | 3.80      | 28    |    | 124,000          |
| ウメ      | 2.20      | 34    |    | 30,000           |
| チャンチン   | 2.00～2.20 | 34～40 |    | 26,210           |
|         |           |       |    |                  |
|         |           |       |    |                  |

# 信州ウッドコーディネーター 令和6年度活動事例報告

## 星川 嘉諒

### ① カラマツラミナ利用拡大 販売に向けての活動

信州カラマツの利用拡大に向け、ラミナ販売を長野県の企業とともに行っていく。  
実際の工場視察同行を行い、製造の現状や、生産規模、受け入れ基準などを  
直接確認するとともに、原木調達と製材と乾燥のシステム化をどのようにしていくかを考える。

木材の仮設材利用としてBC材の原木の利用を考える。

接着製造技術を利用し、鉄板敷板に変わる製品を利用する。

林道や田畑への鉄板敷板による沈下や残存鉄分などを軽減できること、鉄材の高騰による  
盗難等軽減できる。屈折道路は現場にてカットが可能。軽量なので運搬ボリュームが上がる。

## 成果

令和6年度としてはK Dカウントで約235立米、板枚数9,900枚を納入完了した。

## 課題

今後建設予定の中大型建築物には、原木と製材加工の国際認証化が必要となってくる。  
SGEC・PEFC・COC認証が連結しないと製品の受け入れが減少する。仮設材には不必要。



# 信州ウッドコーディネーター 令和6年度活動事例報告

## 星川 嘉諒

### ② チップ、オガ粉、ケンタ、バーク、モルダー粉 販売活動

製材所から出てくるオガ粉、ケンタ、バーク、チップ、素材生産側から出るD材丸太と枝葉をバイオマス燃料以外の利用方法を考え、受注先メーカーとの交渉を行っていく。

製材や建築以外への利用方法を、前報告の土木・仮設利用と平行し行い、林地残材や製材残材を、産業廃棄物としての扱い以外に利用できる様、受注大手メーカーと県内を視察し商品として取り扱ってもらえるようアテンドを行っている。

### 成果

事前に県内の製材所、加工所を周り、各事業所の出材量や販売未利用であるかの確認を行い、可能性のある事業所に受注メーカーとの同行を行った。現在交渉調整中。

今後は更に他の製材、加工等事業体の事前調査を行いボリュームを出せるよう進行中。

### 課題

キノコ業者、畜産業者、バイオマス発電事業体、製紙事業体等と現在の販売ルートは、ある程度出来ているが、まだ余力のある事業体がある。販売金額がどの程度になるかが課題。



## チップ工場アテンダント



# 信州ウッドコーディネーター 令和6年度活動事例報告

松本 寿弘

## ①市町村等への県産材利用

公共建築物等への県産材利用の提案

白馬村、軽井沢町、松川町へ訪問

県産材製品（構造材・羽目板・床材等）、J A S 製材品、森林認証材、  
家具・木工品、土木材等の製品提案

### 《主な実績》

県関係団体と連携し、市町村等へ県産材利用促進の要請活動を実施

県産材製品利用に向けての検討中

### 《今後の課題》

県産材の利用に関する情報を行政側へ発信し、予算確保等への調整

県産材製品の供給の安定性と品質

## 国・県・林業木材関係団体による 県産材利用促進要請



## 町村等への県産材利用相談





## 家具・建具

建具・椅子・テーブル等・他



信州の山には、実に多くの木々が存在しています。それらを素材として職人が技をふるう時、木は人の暮らしに近づき、人に最も近いものとして、暮らしに豊かさを提供します。ただ一つの木製品が親子代々に渡って継がれていくような重みから、ご家族の歩みを象徴するようなワーフのキズやシミ。オーダーメイド木製家具から気取らない高貴な木製家具までのご提供も可能です。お気軽にご相談ください。



職人の技で活きる木

## 外構材・他

デッキ材・外構材・舗道・看板  
ベレットストーブ・包装材・他



私たちの提供する木の用途は、建築材に限りません。それは公共の一角にある歩道のタイルや案内看板、またご家族で過ごすお庭の一角や会話の場ウッドデッキ等。またバイオマス燃料としてのペレットやベレットストーブの燃料まで行きます。私たちは木を長く持ちこたせる技術や木を有効に利用する技術によって、エクステリアから包装資材、公共施設など日常の中に自然の安らぎという豊かさを提供しています。



豊かさを創り出す木

## 構造材

土台・柱材・梁材



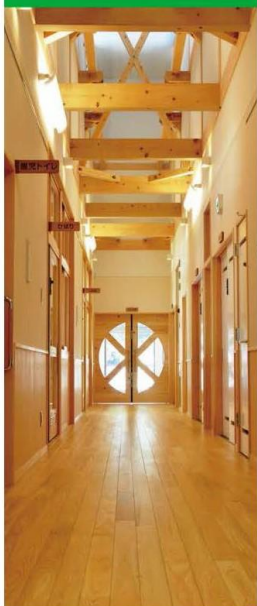
冷涼な気候の信州で長い時間をかけて育まれた木材。その樹幹の年輪は、その木々の歴史を刻んでいます。信州産の木材は、土台や柱、梁などの建築構造材に求められる強さやしなやかさをもちながら、乾燥することによる木の風合いを表現します。



強靱でしなやかな木

## 内装材

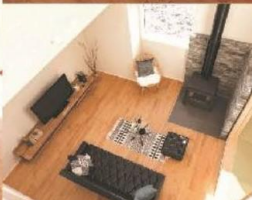
床材・壁材・天井材・他



伐採された木は1本1本の丸太となって無数の無形製材処理の後、十分な乾燥処理を施され木材へと姿を変えています。特にスギ、ヒノキ、アカマツ、カラマツの4種は、信州産の木材として、建築材に合せて選材される利用が容易にでき、それぞれの個性を活かして床材や壁材、天井材など用途に合わせて利用されています。また公共工事でも利用される建築材、住宅材などのリバーティからもお選びいただけます。



適材適所に活きる木



# 信州ウッドコーディネーター 令和6年度活動事例報告

松本 寿弘

## ②県産材の利用拡大と販路拡大

- ・県内、県外への展示会等に参加し、住宅・非住宅等への県産材利用拡大に向けた県産材製品の提案と情報発信
- ・民間企業の方々を案内し、県内製造工場へ訪問したマッチング支援
- ・セミナーと合わせた県産材製品展示商談の支援

### 《主な実績》

民間企業での県産材製品（飾り棚、ベンチ）の設置  
ウェディング関連業界への県産材製品の提案・検討

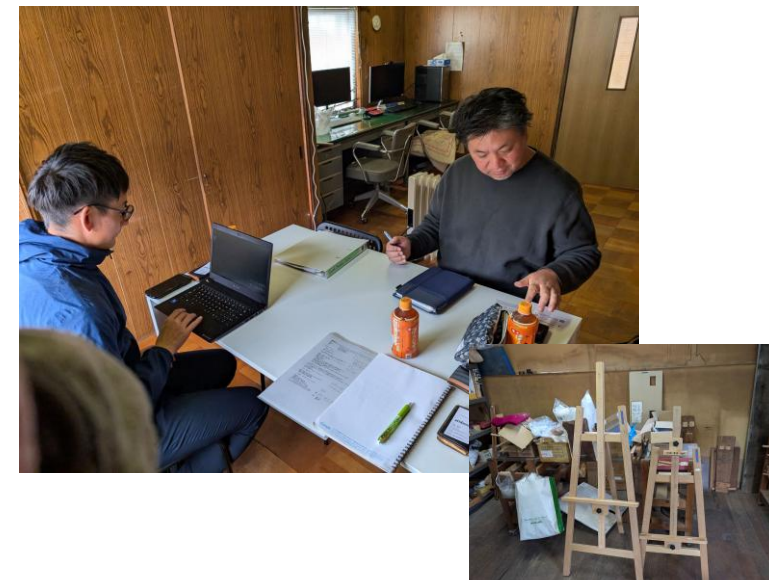
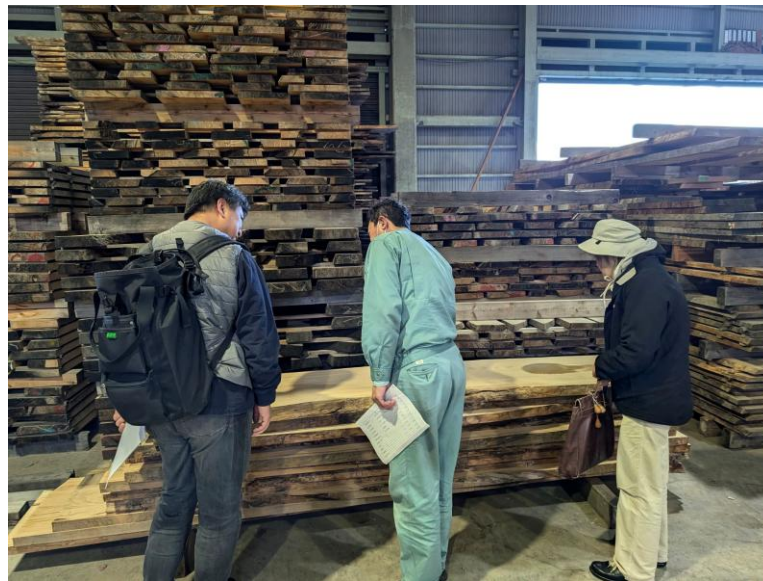
### 《今後の課題》

非住宅等への県産材利用に向けた製品開発  
継続的な普及活動と情報の収集

## 民間企業による県産材製品の設置



## 民間企業との県産材利用相談・県産材製造工場とのマッチング支援



## 県内・県外における展示会での県産材普及活動



# 信州ウッドコーディネーター 令和6年度活動事例報告

松本 寿弘

## ③その他

- ・県内、県外の木材関連企業、建築士等の相談窓口
- ・県産材利用推進に係る勉強会
- ・県産材製品ロゴマーク・キャッチフレーズの検討
- ・県産材ポータルサイトの検討